

早生ふじやトキの収穫は9月25日ころから！  
早もぎせず、味をのせて適期収穫を!!  
台風にも備え、風害防止対策を万全に!!!



樹上選果マン

## I 要約

高品質りんご生産のため、さびやすり傷、心かび果を摘み取るなど、樹上選果を徹底する。

早生ふじやトキの収穫始めは、例年より5日程度早い9月25日ころからと見込まれる。早もぎせず、味をのせて適期に収穫する。

葉摘みは、早くから強く実施すると品質低下を招くので、はじめは果実に密着した葉を摘む程度にとどめ、その後、果実に日陰をつくる葉を摘み取る。

除袋は、ジョナゴールドで9月20日まで、ふじで9月30日までに終える。

台風にも備え、防風網の再点検、整備など風害防止対策をしっかりと行う。

## II りんご生産情報

### 1 果実肥大、作業の進み

#### (1) 果実肥大

9月11日現在、果実肥大は、平年を上回っている。

地域	年	つがる	ジョナゴールド	ふじ
黒石 (りんご研究所)	本年	9.1	/	8.2
	平年	8.7		7.9
	前年	8.8		8.2
	平年比	105		104
弘前市独狐 (中南地域県民局)	本年	/	8.9	8.2
	平年		8.4	7.9
	前年		8.7	7.4
	平年比		106	104
板柳町高増 (西北地域県民局)	本年	/	9.9	8.5
	平年		8.8	7.8
	前年		10.1	8.1
	平年比		113	109
三戸町梅内 (三八地域県民局)	本年	/	8.5	8.1
	平年		8.5	7.7
	前年		8.5	8.3
	平年比		100	105

#### (2) トキの果実熟度

9月13日現在、りんご研究所の調査では、過去2か年の平均値と比較して、表面色指数は高く、硬度及び糖度はやや高く、酸度は同程度、ヨード反応指数はやや低い。

各地域の熟度の進みを総合的に判断すると、例年より5日程度進んでいると見込まれる。

トキの熟度の進み (9月13日現在)

地域	年	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (%)	ヨード反応 (0~5)	※表面色指数 (1~6)	酸度 (g/100ml)
黒石 (りんご研)	本年	304	19.4	13.6	3.4	1.4	0.297
	平均	235	19.0	13.1	3.5	1.1	0.297
	前年	249	19.4	13.1	3.1	1.1	0.280

注) 1 平均は平成25年と平成26年の2か年平均

2 ヨード反応：0~5 小さい数値ほどでんぷんが少ない

3 表面色指数：「りんご黄色品種 青森県 標準カラーチャート」指数

(3) 作業の進み（9月16日現在）

つがるの収穫は、概ね終了した。

早生ふじの葉摘みは終盤であり、ジョナゴールドの除袋が行われている。早い園地ではふじの葉摘みが始まっている。

2 作業の重点

(1) 樹上選果

高品質りんご生産のために、肥大や形が悪い果実のほかに、さびやすり傷、日焼けなどが目立つ果実、心かび果を摘み取る。特に本年は、心かび果やガク割れ果がみられるので、樹上選果を徹底する。

有袋果は、除袋後、丁寧に見直しを行う。

(2) 早生ふじ、トキなどの収穫

早生ふじやトキの収穫始めは、9月25日ころからと見込まれる。

収穫に当たっては、地域毎の熟度調査結果を参考に、早もぎせず、果実の地色や食味を確認して適期に収穫する。

収穫後は、すみやかに冷蔵施設への搬入や出荷を行う。

ア 早生ふじ

収穫時期が早すぎると糖度が低く食味が劣り、遅すぎると果肉が軟化し、貯蔵力が低下するので、地色を見て2回くらいに分けて収穫する。

早生ふじの収穫時の標準指標

食味	糖度	エドモ反応	硬度
3.5以上	13%以上	2.0以下	14～16ポント

イ トキ

収穫適期を把握するため、地域毎に熟度調査や目揃え会を実施し、収穫解禁日を設定するなど早もぎ防止に努める。

熟期が揃わないので、「標準カラーチャート」や「ハンドチャート」の活用、食味の確認によるすぐりもぎを行い、適期に収穫する。その場合、表面色指数の3～5の果実が全体の半量程度に達した時を1回目の収穫の目安とする。2回目以降の収穫は、表面色指数4に達した果実を速やかに収穫する。

特に心かび果やガク割れ果は選別時に混入しないよう、十分注意する。

トキの収穫時の標準指標

硬度 (lbs)	糖度 (%)	ヨード反応 (0~5)	表面色指数 (1~6)	食味
14~15ポンド	14%以上	1.5以下	4以上	4以上



写真↑ハンドチャート

←写真 りんご黄色品種 青森県 標準カラーチャート  
※お問い合わせ先：公益財団法人青森県りんご協会  
電話 0172-27-6006

(3) 中・晩生種の着色手入れ・除袋

早くから強く葉を摘みすぎると、鮮やかな色が着かないばかりでなく食味を低下させるので、はじめは果実に密着した葉を摘む程度にとどめ、その後、果実に日陰をつくる葉を摘み取る。

除袋は、ジョナゴールドで9月20日まで、ふじで9月30日までに終える。着色ムラをなくし、リンゴコカクモンハマキの食害を防ぐため、外袋をはぐ時は、果実に密着している葉を摘み取る。なお、日焼けの発生を防ぐため、内袋をはぐときは曇天か晴天の日中(10時~14時)に行うが、高温時は避ける。

(4) モモシクイガ被害果の除去

モモシクイガによる被害果を流通させないために、収穫した果実は、選果時に徹底して選別する。被害果は見つけ次第、7日以上の水漬けなど適切に処置をする。

(5) 鳥害防止対策

ムクドリ（サクラドリ）、ヒヨドリ、カラスなどの被害が大きいところでは、防鳥網を使用する。なお、防鳥網の網目は35mm以下とする。

(6) 風害防止対策

台風等に備え、防風網やわい性台樹の結束などについて、再度点検し、補強や取り替えを行う。

また、幹や主枝などに空洞が生じている樹や、腐らん病の被害等を受けた枝や樹は、支柱で支え、縄などで補強する。幼木は倒伏しやすいので支柱を立てて結束する。

(7) 炭疽病等被害果の除去

被害果は見つけ次第摘み取り、土中に埋める。

(8) 腐らん病対策

夏場には、病斑の拡大が一時停止していたが、今後、降雨により未処置病斑から胞子が飛散し、来年以降の発生につながる。胴腐らんの治療部を再点検し、病斑の伸展が見られる場合は直ちに適切な処置を行う。

3 一般作業

- (1) 草刈り (2) 徒長枝整理、枝吊り、支柱入れ

4 今後の作業予定

- (1) 中・晩生種の着色手入れと中生種の収穫 (2) 果実疫病対策  
(3) 風害防止対策 (4) 腐らん病対策 (5) 支柱の手直し  
(6) 鳥害防止対策

－ 樹上選果推進期間（8月下旬～収穫期） －

美味しいりんごを届けよう！  
今年もやります！樹上選果と「すぐりもぎ」！

－ 決め手は適期収穫！ －

中生種は味が命！早もぎせず、しっかり味をのせてから収穫を！

《 農薬使用基準の遵守 》

農薬を使用する場合、ラベル等の記載事項を読み、それぞれの農薬に定められている使用回数、使用時期、使用濃度を厳守し、使用状況を記帳する。使用回数については、含まれる成分によって制限されるので、同一成分が含まれる剤の総使用回数を守る。また、使用者の責任で最新の「農薬登録情報」を確認する。

農薬の使用前には、防除器具が洗浄されているかを確認するとともに、使用後は、十分洗浄する。

なお、薬剤の年間使用回数は、収穫後から翌年の収穫までの1年間に使用できる回数である。

《 《 お知らせ 》 》

県予察ほの「モモシクイガの発生情報」、「りんご黒星病、斑点落葉病の発生推移」は、アップルネット (<http://www.applenet.jp/>) の「アップル農場、病虫害情報、りんご・特産果樹の病虫害発生・防除情報」で提供しています。

また、「アップル農場・りんご・生育速報」には「つがる」、「トキ」の熟度が掲載されています。ご利用ください。

---

農業機械事故が多発しています！農作業安全を心がけましょう！

---

地域ぐるみで放任園の発生防止と解消に努めましょう！

---

次回の「りんご生産情報」第12号は10月2日(金)発表の予定

連絡先 : りんご果樹課生産振興グループ  
電話番号 : 017-722-1111 代表  
                  内線 5092, 5094  
                  017-734-9492 直通